

はなみずき



学校だより

鶴岡市立朝陽第四小学校
令和7年7月25日

「体験」と「良質な言葉」にあふれた『忘れえぬ 夏』に …



いよいよ夏休みですね。1学期を振り返ると、とても実りの多い素敵な学期となりました。

「学校のリーダー」としてやる気と自覚をもって大きく成長している6年生。自然教室で見せてくれた5年生の前向きな行動と温かな心の交流。天神祭りパレードで4年生が見せてくれた「暁薫らん」の集中力とやる気に満ちたエネルギー。勉強する教科が増え、様々な挑戦をしながらグッとたくましさを増してきた3年生。たった1年で、こんなにも成長するのかと感心するほど、授業に取り組む姿が落ち着き、立派になった2年生。慣れない学校生活の中にも、自分たちのできることを一つひとつ学び、学校のルールもわかってきた1年生。日々の経験を通し、どの学年も成長し、充実した1学期でした。

さて、1か月という1年で一番長い夏休みが始まります。子どもたちもワクワクしながら夏休みを迎えることでしょう。それぞれの夏休みが充実したものになることを願いながら「体験」と「良質な言葉」について、「教育」とつなげながら書いてみようと思います。

「家庭教育」をテーマにした6月のPTA研修会で、ギターで弾き語りをしながら「小学生時代の体験活動が、高校生になった時点での自己肯定感に有意差をもたらす」という話をさせていただきました。小学生時代に、沢山の自然体験や文化体験等をする、と、高校生になった時点で「自尊感情が高まり、物事を人並みに上手くやれるという感情が育つ」「精神的回復力が高まり、チャレンジするのが好きな子どもに育つ」「我慢強さがつき、困難があってもやる気を失わない子になる」「明るく楽しい気持ちで過ごし、精神的に健康な状態になる」という調査結果が、文部科学省から正式に発表されたという話です。

昨年、夏祭りが行われなかった町で、「子どもたちに夏祭りを」という願いを込め、この夏復活させる町もあるようです。夏休みの間に、いろんな経験をさせてあげたいですね。

話は変わり、個人的なことで大変恐縮ですが、先日、若い頃から大好きな永遠のアイドルの武道館コンサートに行ってきました。でも、武道館なんて初めてで、手にしたチケットは後ろから5番目。「見えにくいのかな」とか、「端っこなんだろうな」とか、行く前から、ある程度の覚悟はしていました。会場に入ると、やっぱり後ろから5番目の席。遠くにいる前の席の人たちが羨ましく思えました。そうこうしているうちに、ピンクのハッピーと鉢巻をした筋金入りのファンと思われる男女が私の席の後ろにきました。その二人が席に着くやいなや、男の方が「うわぁ、真正面じゃん。最高の席だ。今回は超ラッキーだ」と歓喜の声をあげました。その言葉を聞いた瞬間、たった今まで「前の席の人がうらやましいな」「後ろの端っこの方で残念だな」と思っていた私のマイナスの感覚が吹っ飛び、一気に嬉しい気持ちになり、2時間半のコンサートを最大級に楽しんでくることができました。あの男の方が「なんだ、こんなに後ろか。今回はハズレだな」なんて言っていたら、私の見方も、気持ちも変わっていたように思います。

言葉は、自分は勿論、他者の心の持ちようまで変える力があります。経験が、良質な言葉で価値づけされることで、子どもたちの経験の価値は2倍にも3倍にもなると、改めて思う今日この頃です。

それぞれのご家庭で、「体験」と「良質な言葉」にあふれた『忘れえぬ 夏』になりますように…

(文責 校長)

